



第51期
株主通信

2023年4月1日 ▶ 2024年3月31日





代表取締役社長
柏森 雅勝

Q1. 2024年3月期の総括

2022年11月に登場したスマートパチスロが、引き続きパチンコファンの高い支持を得たことで、パチンコホール企業の設備投資が活発化し、当社製品の販売が好調に推移しました。その結果、大幅な増収増益となり、過去最高益を達成しました。（下記グラフ参照）

Q2. 2025年3月期の見通し

情報システム事業につきましては、スマート遊技機向けの設備販売や改刷対応により、過去最高売上・利益となった前期同等の業績を見込んでおります。アミューズメント事業につきましては、当社初となるスマートパチスロの市場投入をいたします。

Q3. 今後のパチンコ業界について

2023年12月末において、パチンコホール店舗数は7,083店舗となり減少を続けていますが業界全体におけるパチンコホールの総売上は15.7兆円(前年14.6兆円)、総粗利は2.54兆円(前年2.39兆円)と11年ぶりに5%以上上昇しました。(当社SISデータより)これはスマートパチスロが業界を牽引し、パチスロ業績が大幅に回復したためです。パチスロ全体におけるスマートパチスロの設置シェアは2024年3月末で36.4%まで急激に伸びており、パチンコ業界における大きな転換期となっておりますので今後も業界の活性化、そして当社の業績にも繋がっていくものと考えます。

Q4. ダイコク電機の成長戦略

クラウド化やスマートパチスロの市場参入に向けて全力で取り組んだ結果、中期経営計画は順調

に進んでおりますが、その先の当社の成長戦略についてご説明いたします。ダイコク電機は、パチンコ業界におけるDXリーダーを目指します。基盤となるプラットフォームをクラウドへと移行し、AIやビッグデータを活用したサービスを、スピーディーに提供していく体制が整います。我々は、顧客や社会のニーズをもとに、データとデジタル技術を活用し、製品やサービス、ビジネスモデルを変革していくこと、すなわちDXを加速していきます。こうしたDXに始まる変革は、全てのパチンコホール企業が顧客となります。ただ需要を満たすのではなく、パチンコホール企業の競争力の源を販売し、全国に拡げていく。売れる商品を作るのではなく、顧客を作り出していく。それが当社の成長戦略であり、DXはその原動力となります。

■ 中期経営計画の数値目標

(単位：百万円、単位未満は切捨て)

	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期	
	当初計画	実績	当初計画	実績	当初計画	修正計画
売上高	26,000	31,824	32,000	53,861	34,000	55,000
営業利益	850	4,019	1,700	12,001	2,200	12,400
経常利益	950	4,260	1,800	12,102	2,300	12,500
当期純利益	650	2,927	1,200	8,464	1,500	8,500

Q5. 株主の皆さまへのメッセージ

2024年3月期の中間配当は当初の10円に特別配当10円を加えた20円、期末配当は当初の30円に特別配当70円を加えた100円とし、年間配当は過去最高の120円とさせていただきます。2025年3月期につきましても、引き続き足下の業績が好調ですので、中間配当40円、期末配当80円、年間配当は過去最高の前期と同じく120円を予定しています。また、引き続きクオカードを贈呈する株主優待制度も実施する予定です。株主の皆さまには、当社事業の今後の飛躍にご期待いただき、長期のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年3月期 資産の状況

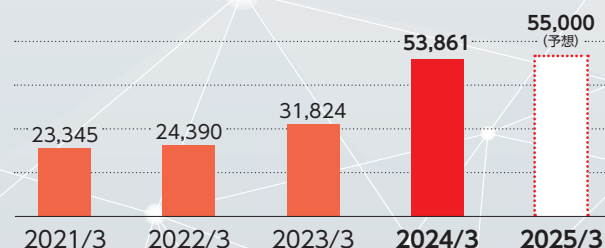


(単位：百万円、単位未満は切捨て)

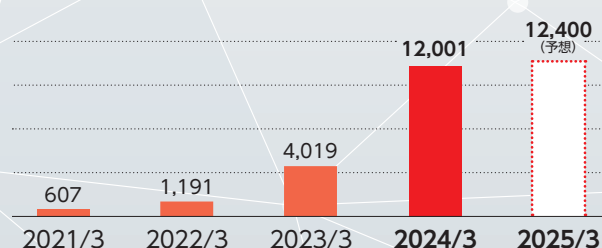
業績ハイライト

(単位：百万円、単位未満は切捨て)

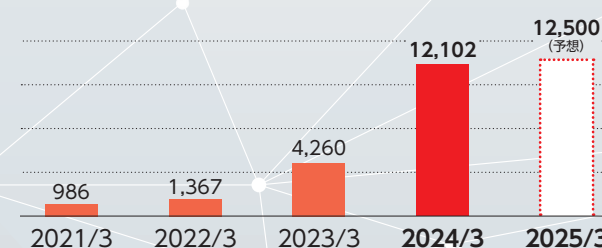
売上高



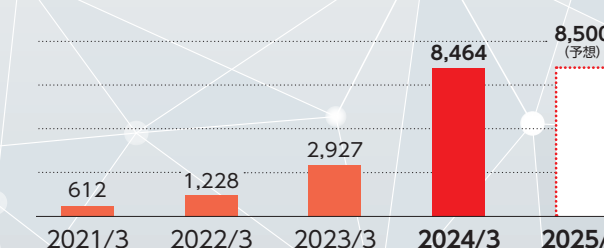
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



4月1日
株式会社ライリを孫会社化
株式会社 **ライリ**

6月28日
健康企業宣言
健康企業宣言「宣言の証」

7月
「DK-SIS白書 2023年版-2022年データ-」刊行

2月～3月
展示会&DK-SISセミナー「Brand∞New Links」開催
2024年2月14日の東京会場を皮切りに、大阪、名古屋、福岡の4会場、延べ6日間にわたり、新製品発表会&DK-SISセミナーを開催しました。約5年ぶりのリアル開催となった今回の展示会は、「ダイコクがはじめる新たなつながり」をテーマとし、2,000名を超えるお客さまに新製品「REVOLAII」「DUALINA」「Wellph」を体感いただきました。

新製品「REVOLAII」
7セグ+大型液晶の先駆者、REVOLAが進化。タッチ操作&フルHD対応液晶がパチンコホールを更に彩ります。

新製品「DUALINA」
スマート遊技機に最適な出玉表現を。業界“史上”最大、デュアルセグ搭載上部設置端末。

新製品「Wellph」
ホールスタッフの耳を騒音から守る、業界初!パチンコホール特化型ノイズキャンセリングイヤホン。

7月24日～28日
「DK-SISオンラインセミナー 躍動」開催

9月8日・9日
「名証IRエキスポ 2023」に出展

9月～10月
「プログラミング教室無料体験会」開催

12月
CDPマネジメントレベル「B」認定
環境関連の戦略や取り組みなどを評価・認定する国際的な非営利団体CDPから、気候変動対応への取り組みで、マネジメントレベル「B」スコアを獲得し、前年度の「B-」スコアから評価を伸ばしました。「B」スコアは、マネジメントレベルとされており、「自社の環境リスクやその影響を認識し、行動している企業である」として評価されます。

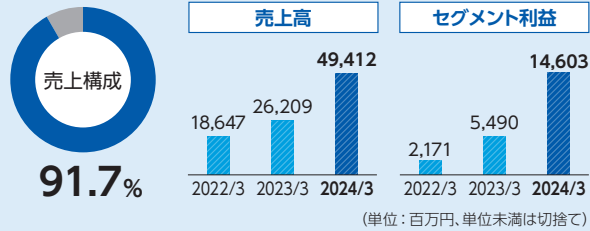
1月
令和6年能登半島地震への被災地支援
能登半島地震により甚大な被害を受けた方々の救援や被災地の復旧にお役立ていただくため、義援金を拠出しました。

事業概要・セグメント情報

Segment Information

情報システム事業

パチンコホール向けコンピュータシステムの開発・製造・販売



●ホールコンピュータ | ホール経営用のコンピュータ



●情報公開機器 | 遊技ファン用のデータ表示機



●サイトセブン | 遊技ファン用のデータ閲覧サービス

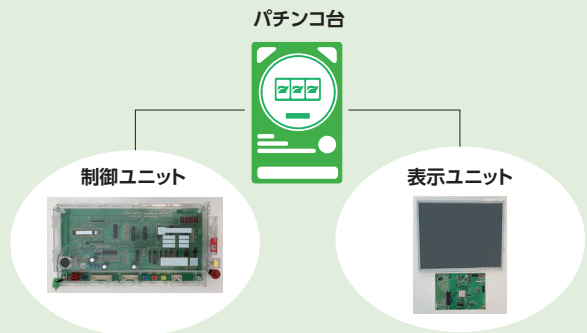
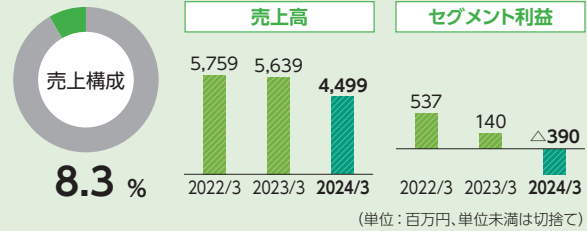


当期の営業概況

スマート遊技機導入による活発な設備投資需要により、カードユニット「VEGASIA」や情報公開端末「REVOLA」「BIGMO PREMIUMII」の販売台数が好調に推移し、また、2024年7月からの新紙幣流通に先駆けてカードユニットの改刷対応需要により、前年同期を大幅に上回りました。

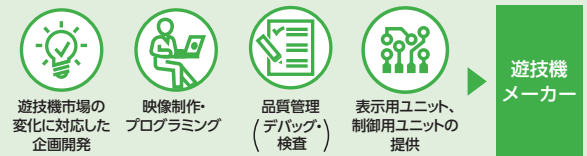
アミューズメント事業

パチンコ・パチスロ機のソフト・ハード開発・製造・販売



基本動作をつかさどるハードウェアとそれに搭載されるプログラムから構成され、パチンコ遊技機の心臓部といえます。

パチンコ遊技機のゲーム内容を表現する部分で、ハードウェアとそれに搭載されるプログラムから構成されます。



当期の営業概況

市場全体のパチンコ機販売台数が減少した影響もあり、遊技機向けの表示ユニット及び制御ユニット販売は前年同期を下回りましたが、部品販売は前年同期を上回りました。

※セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

会社概要

Company Profile

会社概要 (2024年3月31日現在)

商号 ダイコク電機株式会社
DAIKOKU DENKI CO., LTD.

創業 1965年 9月

設立 1973年 7月

資本金 6億7千4百万円

本社 名古屋市中区那古野一丁目43番5号

従業員数 単体: 393名 連結: 644名

事業内容 パチンコホール向けコンピュータシステムの開発・製造・販売
パチンコ、パチスロ遊技機に関するハードウェアの開発、製造、販売、ソフト開発

決算期 3月31日

事業所 3事業所、4支店、13営業所

連結子会社 元気株式会社
DAXEL株式会社
ダイコク産業株式会社
アロフト株式会社
株式会社グローバルワイズ

役員 (2024年6月26日現在)

取締役会長	大上誠一郎
代表取締役社長	栢森雅勝
代表取締役専務	栢森健
代表取締役専務	成俊文
取締役	櫻井由美子
取締役	小紫正樹
常勤監査役	西尾光生
監査役	中島健一
監査役	森田幸典
監査役	今井宣之

(注) 1. 取締役 櫻井由美子氏、小紫正樹氏は社外取締役であります。
2. 監査役 中島健一氏、森田幸典氏、今井宣之氏は社外監査役であります。

執行役員 (2024年4月1日現在)

上席執行役員	加藤忠芳
上席執行役員	尾関貴夫
執行役員	牧久視
執行役員	岡本篤憲
執行役員	石原敬久
執行役員	猪飼俊光
執行役員	飯田康晴
執行役員	入江明

株式情報 (2024年3月31日現在)

Stock Information

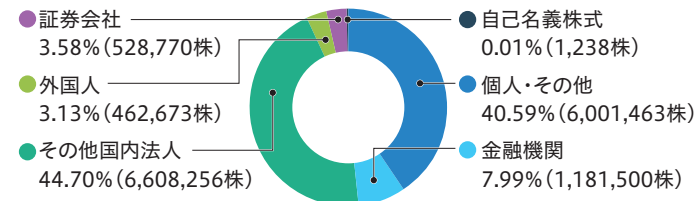
株式の状況

発行可能株式総数 66,747,000 株

発行済株式総数 14,783,900 株

株主数 17,487 名

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
円谷フィールドホールディングス株式会社	2,958,400	20.01
株式会社KCプラス	1,199,200	8.11
栢森 雅勝	902,350	6.10
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	853,700	5.77
公益財団法人栢森情報科学振興財団	750,000	5.07
株式会社大黒屋	750,000	5.07
栢森 新治	510,000	3.44
栢森 美智子	490,000	3.31
栢森 健	443,000	2.99
ダイコク興産株式会社	380,000	2.57

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日
- 定時株主総会 6月下旬
- 基準日 定時株主総会 3月31日
 期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日
 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
- 一単元の株式数 100株
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 〒460-8685
 名古屋市中区栄三丁目15番33号
 三井住友信託銀行株式会社
 証券代行部
- 郵便物送付先 〒168-0063
 電話照会先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社
 証券代行部
 TEL.0120-782-031(フリーダイヤル)
 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の
 本店及び全国各支店で行っております。
- 公告方法 電子公告によります。ただし、やむを得ない
 事由によって電子公告ができない場合は、
 日本経済新聞に掲載いたします。
- 公告のホームページアドレス <https://www.daikoku.co.jp>

株主優待制度のご案内

毎年9月末日時点の当社株主名簿に記載または記録された100株以上をご所有する株主さまを対象に、保有株式数と継続保有期間に応じてオリジナルQUOカードを贈呈いたします。

お届けは毎年12月上旬に「第2四半期株主通信」に同封してお送りしております。

今後とも、変わらぬご愛顧とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



保有株式数	継続保有期間		
	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上
100株以上 ～500株未満	1,000円分	2,000円分	3,000円分
500株以上 ～1,000株未満	2,000円分	3,000円分	4,000円分
1,000株以上	3,000円分	4,000円分	5,000円分

※継続保有期間とは、同一の株主番号で株主名簿基準日(毎年3月末日及び9月末日)の株主名簿に連続で記載または記録されていることをいいます。